

**製品名: CALB2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81725**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	31.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CALB2
別名	CR; CAL2; CAB29
遺伝子 ID	794.0
SwissProt ID	P22676
免疫原	大腸菌で発現したヒト CALB2 (AA: 172-271) の精製された組み換え断片。

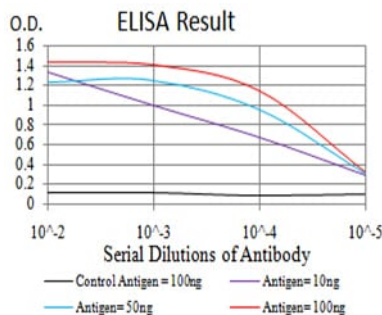
**背景**

この遺伝子は、トロポニン C スーパーファミリーに属する細胞内カルシウム結合タンパク質をコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、カルシウムに結合する 6 つの EF ハンドドメインを持っています。このタンパク質は、メッセージの標的化

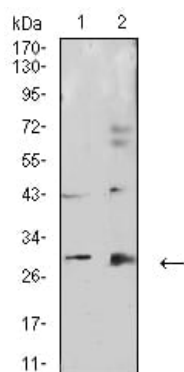
や細胞内カルシウム緩衝化など、多様な細胞機能に役割を果たしています。また、ニューロン興奮性のモジュレーターとして機能し、ヒルシスプルング病や一部の癌など、いくつかのヒト疾患の診断マーカーでもあります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子は、トロポニンCスーパーファミリーに属する細胞内カルシウム結合タンパク質をコードしています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、カルシウムに結合する6つのEFハンドドメインを持っています。このタンパク質は、メッセージの標的化や細胞内カルシウム緩衝化など、多様な細胞機能に役割を果たしています。また、ニューロン興奮性のモジュレーターとして機能し、ヒルシスプルング病や一部の癌など、いくつかのヒト疾患の診断マーカーでもあります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。

## 研究分野

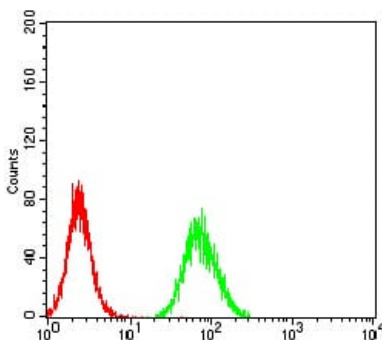
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HepG2 (1) および COS7 (2) 細胞溶解物に対する CALB2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



CALB2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。